

平成 27 年度 南関東・東京ブロック事業報告

1. 活動テーマ

「地域における保健師の保健活動について」

2. 目的

「地域における保健師活動に関する指針」についての理解を深め、実践報告を通してこれからの保健師活動の充実強化につなげる。

3. 実施状況

| 回 | 開催日 | 場 所 | 内 容 |
|---|-------------------------|--------------------------|--|
| 1 | 6月13日(土) 10:00~12:00 | コムナーレ第2集会室 (さいたま市浦和区) | 第1回理事・支部長会議 ・第1回拡大常任理事会報告 ・ブロック研修会打ち合わせ・情報交換 |
| 2 | 9月26日(土) 10:00~16:00 | さいたま共済会館 (さいたま市浦和区) | ブロック研修会 1 研究報告 「ソーシャルキャピタルの醸成にかかる保健師の能力形成に関する研究」全国保健師長会研究班 松本珠実氏 2 講演「保健師活動指針に関する国の動向について」 埼玉県熊谷保健所副所長 加藤静子氏 3 パネルディスカッション(実践報告) ① 千葉県 千葉県健康福祉部健康づくり支援課 主幹 市川滋子氏 ② 相模原市 相模原市南保健センター 所長 上野世津子氏 ③ 川口市 川口市保健センター 所長補佐 我妻淳子氏 4 グループワーク 5 まとめ 全国保健師長会 副会長 佐川きよみ氏 |

4. 結果・課題

研修会は、125名の参加であった。講演では、保健師活動指針特別委員会における全国調査結果を基に、活動指針策定状況や統括保健師配置状況・課題などが示された。また、指針策定において県型保健所による市町村支援事例が示され、今後の活動の参考となった。パネルディスカッションでは、県・政令市・市町村のそれぞれから、保健師活動指針の策定経緯、保健師間での情報共有や他職種へのアプローチなど、具体的な話のため、指針策定に向けて理解が深まるとともに策定への機運も高められた。グループワークでは、「各自治体の取組状況や課題を知ることができた」「困っていることややりたいことは共通で励まされた」などの感想があり、有意義であった。研修会全体を通して、「人材育成」及び「策定した指針の活用」が今後の課題とされた。

5. 委員・支部長

| | | |
|--------|--------|-------------------------|
| ○理事 | 瀬谷 恵美 | さいたま市南区役所健康福祉部保健センター |
| 理事 | 中山 久美子 | 千葉市中央保健福祉センター健康課 |
| 埼玉県 | 浅井 澄代 | 埼玉県保健医療部保健医療政策課 |
| さいたま市 | 橋詰 美加 | さいたま市保健福祉局保健部健康増進課 |
| 千葉県 | 川名 千春 | 千葉県市原健康福祉センター |
| 千葉市 | 阿部 裕子 | 千葉市若葉保健福祉センター健康課 |
| 東京都 | 本田 浩子 | 東京都多摩府中保健所保健対策課 |
| 東京都特別区 | 神楽岡 澄 | 新宿区健康部(新宿保健所)保健予防課 |
| 神奈川県 | 小枝 恵美子 | 神奈川県鎌倉保健福祉事務所保健予防課 |
| 川崎市 | 佐藤 慎子 | 川崎市総務局人材育成センター健康支援課 |
| 横浜市 | 田邊 順子 | 横浜市旭区高齢・障害支援課 |
| 横浜市 | 椎葉 桂子 | 横浜市緑区課長補佐こども家庭支援課こども家庭係 |

